

あくせす news

第 232 号
2021年10月14日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす

天高く馬肥ゆる季節となりました。爽りの秋を迎え旬のおいしい食べ物が夏の疲れを癒してくれそうな今日この頃です。
さて、先生方にはいつもあくせすをご利用いただき誠にありがとうございます。
今後も、ご利用・ご紹介のほどよろしくお願ひいたします。



Zoom up

終夜睡眠ポリソムノグラフィー (PSG) 検査について



6階病棟
升谷師長 西田主任

9月28日(火)の関係医師懇談会において6階病棟から終夜睡眠ポリソムノグラフィー(PSG)検査入院についての発表がありました。
当院では睡眠時無呼吸症候群の原因や重症度を調べ、治療方法を決定するための精密検査として、PSG検査を年間30件程度行っています。発表では検査機器や病室の紹介、入院の流れ、患者さんへの注意点について詳しい説明がありました。

昨年の11月に検査装置がワイヤレスに変わり、センサー装着後も自由に移動や飲食ができるようになりました。以前に比べ負担が軽くなり、患者さんからもご好評をいただいています。また、眠れない患者さんには睡眠薬を服用していただくことも可能です。

今後も安全で確実な検査が行えるようスタッフ一同努めてまいりますので、睡眠時無呼吸症候群が疑われる患者さんがおられましたら呼吸器外来へご紹介の程よろしくお願ひいたします。



入院していただく病室

普段に近い状態で寝ていた
だけ専用
の個室を準備

プライバシーが守られる
ようシャワー、トイレ、
洗面台、テレビを完備

少ない荷物で入院して
いただけるようパジャマ、
アメニティ用品をセット



患者さんをお願いしていること ~注意点~

- ・機器の取り付けがあるため時間厳守で来院
- ・普段使用している薬は持参し服用
- ・かつら・マニキュアや付け爪ははずす
- ・下顎に電極を装着するため、基本的に髭剃りが必要
- ・正確な脳波測定が行われるよう、検査前に洗髪を済ませ、しっかりと髪を乾かし、ワックスなどをつけない、化粧もおとす
- ・眠れない時は知らせていただき睡眠薬を服用
- ・21時の消灯時には携帯やスマホ・テレビやラジオの電源をOFF
- ・補聴器があれば外す
- ・電動ベッドの電源を抜く



- 呼吸器外来 水曜日：河内 礼子 医師 金曜日：山口 覚博 医師
- 外来予約受付 あくせす TEL：32-7576 FAX：32-7507

検査のみをご希望の場合はあくせすにご相談ください。

トピック

『くれえばん』にPOOPの連載がスタートしました



2021年8月号より呉市の地域情報誌『くれえばん』に排便障害ケアチームPOOPの連載コラム「ぷぷ通信」がスタートしました！「うち先生」こと藤森医師(大腸肛門病センター 副センター長)を中心にPOOPのメンバーが排便ケアについて、毎月分かりやすい情報を発信していく予定です。

また、2021年8月号「Leaders message」には中塚院長、10月号「マチレポ」には大腸肛門病センター排便障害ケアチームPOOPが紹介されておりますので是非ご覧下さい。



呉市医師会病院のホームページからも閲覧可能です。

※株式会社SAメディアラボ様より、HPへの掲載許可をいただいております。

大腸癌マウスモデルに対する間質反応抑制剤と免疫チェックポイント阻害剤併用療法における抗腫瘍効果について

呉市医師会病院 内科主任医長 よりた なおき 頼田 尚樹

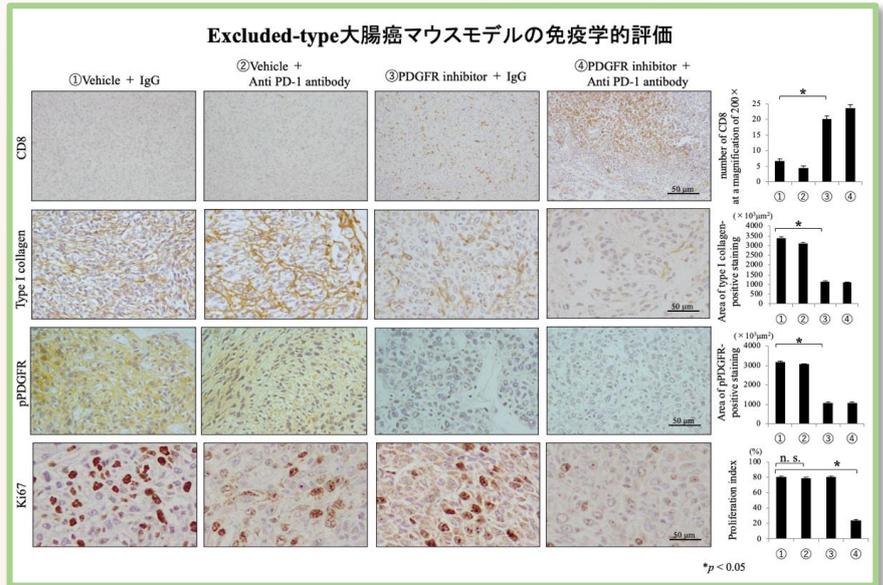


近年、免疫チェックポイント阻害剤が出現したことで癌免疫療法は劇的に進歩を遂げてきましたが、大腸癌においては一部の腫瘍でしか癌免疫療法の効果が得られていない現状があります。大腸癌では癌胞巣周囲に線維性間質が増生する間質反応が知られており、間質反応が強い大腸癌は悪性度が高いことや、大腸癌外科切除標本における病理組織学的検討においては、間質反応が強い腫瘍組織では腫瘍内への免疫細胞浸潤が少ない傾向があることが知られています。

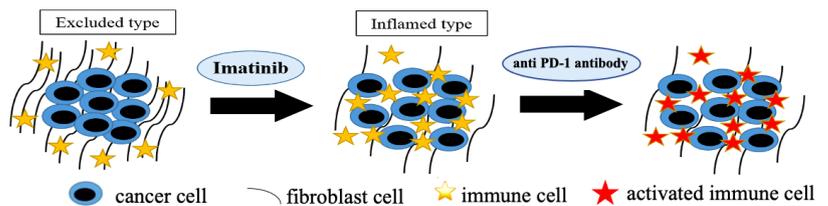
本研究では、癌関連線維芽細胞を標的とした PDGFR 阻害剤の併用が抗 PD-1 抗体による大腸癌免疫療法の感受性を上げるという仮説に基づいて、免疫同系応答同所移植マウスモデルを用いた抗 PD-1 抗体及び PDGFR 阻害剤の抗腫瘍効果の検討を行いました (Yorita et al. *Cancer letters* 2021)。

免疫学的 Phenotype (Inflamed-, Excluded-, Desert-type) 別の免疫同系応答同所移植マウスモデルを作成し、各群に対して治療実験を行った結果、間質が豊富に存在する

Excluded-type の大腸癌においては、抗 PD-1 抗体の単剤投与で抗腫瘍効果を認めませんでした。PDGFR 阻害剤と併用して投与することによって抗腫瘍効果を認めることが分かりました。また、治療後の切除腫瘍を組織学的に評価すると、癌胞巣内の間質量が減少し免疫細胞の腫瘍内への浸潤が増加しており、この事が抗 PD-1 抗体の効果の増強に関係していることが分かりました。これらの結果から、これまで免疫チェックポイント阻害剤単剤では奏功しなかった大腸癌症例においても、本併用療法が有効である可能性が考えられます。



頼田医師の診察日は
毎週 木曜日 午前中です。
胃内視鏡検査・大腸内視鏡
検査ともに月曜日と金曜日
を担当しております。
消化器疾患の患者さんが
おられましたらご紹介の程
よろしくお願いたします。



Excluded typeの大腸癌にPDGFR阻害剤を投与すると間質反応が抑制されることで腫瘍免疫組織学的phenotypeが腫瘍胞巣内に免疫細胞が十分に存在するInflamed-typeに変化し、免疫抑制が解除されることで治療効果の増強に繋がったと考えた。

現在開発中の多くの治療薬に加えて、この併用療法により、これまで抗PD-1抗体単剤での治療効果が得られなかった症例においても新たな治療選択肢となる可能性がある。

★9月1日～9月30日★

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
107.2人	54.1%	15.7日	75人	86件

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 中塚 博文 MSW 森下 香織 MSW 菅原 淳子 MSW 巻幡 成実
FAX (0823) 32-7507 室長 中間 千穂 事務 中野 浩美 事務 向井 梨恵 事務 住吉 美濤